

この編集後記を書いているときに、フランスでのパリオリンピックが華々しく始まった。テレビ画面からは、フランスならではの開会式の雰囲気の大に感じることができた。早速始まった競技では、女子柔道 48 キロ級の角田夏実選手が金メダルを獲得し、日本勢初の快挙となった。角田選手の試合ダイジェストでは、決勝に至るすべての試合で相手を圧倒する素晴らしい内容であった。闘志を内に秘めた冷静な表情がとても印象的で、柔道選手としての風格を感じるほどであった。柔道の試合では、日頃の修練が報われるとは限らない。そこには、対戦相手との相性、場の雰囲気、そして心身ともに最良の状態で臨んでいるかなど、これらすべての総合力によって勝敗が決まるのであろう。

さて、今回の特集は、松山幸弘先生の企画による「神経ブロック・関節ブロックの実際」であった。神経診察と画像診断が合致する場合には、診断・治療方針に悩むことはないが、日常臨床では診断困難な場合がまれではなく、神経根ブロックあるいは関節ブロック注射による検証は有益な情報となる。さらに、痛みの治療としても期待でき、医療従事者・患者双方にとって最善の解決策となる場合も多い。今回の特集には、執筆陣の知識・経験が詰まっており、日常診療に直結する素晴らしい内容であった。読者皆さんの脊椎脊髄疾患の診療・手術に大いに役立つと思われる。

脊椎脊髄疾患の手術においては、柔道のような勝敗の世界ではないが、手術の得意・不得意は必ずあり、さらには自分自身の心身の状態も重要であろう。手術結果においては、当然の勝ち(=成功)はあっても、想定外の負け(=失敗)はあってはならない。そのためには、術前準備が重要であることは論を俟たない。入念な神経診察と画像診断との合致がなければ、別の医師の意見を聞く、術前カンファレンスで議論を重ねることは必要である。さらに、自分自身の考えに固執しないためにも、「神経ブロック・関節ブロック」による検証を行うことは、最善の判断につながることが期待される。私自身においても、最良の体調を維持し、常に冷静に判断し、想定外の負けをゼロにする修練を続けたいと思う。夏のパリオリンピック、これから多くの劇的なドラマが待っていそうである。

(高見俊宏)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘
安原隆雄

Vol. 37 No. 7

(2024 年 8 月 19 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 2,500 円+税)

(配送料別)

年きめ予約購読料 33,300 円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2024,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。